



広報

うまじ

第238号

平成19年12月1日発行

魚梁瀬小学校



われらラグビー部!?

10月30日 魚梁瀬小学校、11月17日 馬路小学校で、ラグビー教室が開催されました。

講師は、日本選手権で何度も優勝を果たしたあの^{おおや ぎあつし}大八木淳史さん。大八木さんは、ラグビーを人生にたとえながら、困難に対応する姿勢や相手を思いやる気持ちなどを熱心に指導してくださいました。児童らは大きな体格にびっくりしながら、パスなどひとつひとつの動作の反省点を見つけ改善。成功するとみんなで歓声をあげ、何度もトライしていました。

特集 ゆず	2・3
平成18年度決算	4・5
議会だより	6・7
体操とおしゃべりでもっともともと元気に・馬路村俳壇	8
ふるさとへの便り・フォト人ウォッチング	9
キャリア教育をすすめる	10-11
馬路村の歴史と伝説	12

目次

Dr.内田のひとりごと	13
ミニ特集 魚梁瀬の森	14
カールのフォトエッセイ	15
お知らせ	16
行事予定表	17
村内あちらこちら・村のできごと	18

特集

地域を育てる



待ちに待ったゆずの季節を迎え、にわかに村は活気づいています。朝早くから日暮れまでの収穫作業で、皆さま、さぞお疲れのことでしょう。ゆずの需要は年々伸びてきており、特に馬路村のゆずは香りがいいと評判です。ファンの数も年々増え、農協へはまちのお客さんから、うれしい注文が次々と入ってくるようになりました。ゆず栽培に力を入れはじめた約40年前には想像もつかなかった今日に至っています。そこで、私たちにとって一番身近な「ゆず」を特集します。

好調な加工品販売

皆さんが大事に大事に作ったゆずは、農協で加工され、さまざまな製品に生まれ変わっています。

お歳暮シーズンのため、ゆずの加工場は、遅くまで電気がついちゅう時期になりました。職員らは「ありがたい」、「間に合わん」、「忙しい」と、てんでこ舞いのようです。

農協のゆず製品の数は現在35種類。全国で25万人を超えるファンの方が楽しみにしてくれて、昨年の売り上げは33億円に達しています。この秋には新商品ゆずのスポーツ飲料「スーパーごっくん」も仲間に加わりました。

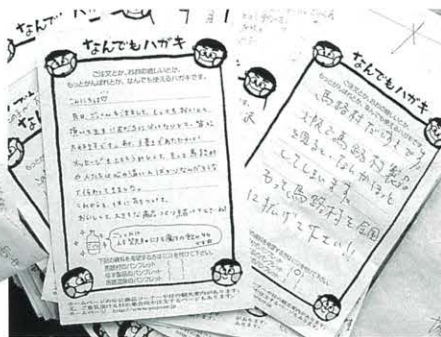


ごっくんの製造ライン



消費者の声

私たちは「馬路のゆず製品はほんまにおいしい」という声に喜びを感じます。特にまちのお客さんから支持をいただいている理由として、味だけではなく、製品の向こう側に見えてくる村の風景や元気にコツコツ働く生産者の姿に共感するといった声が聞かれます。この村からイメージされる光景が「おいしい」につながっているのかもしれないね。



ゆずブーム？

うわさのとおり、全国的にゆずが足りません。大手企業がさまざまなゆず商品を発売し、風の便りで、「世の中はゆずブームである」と聞きました。産地として全国の食卓にゆずが広まったことは、この上なくうれしいことです。

パニック！

今年9月、ついに原料が底を突き、農協はパニックになりました。

友人たちからの、「馬路のゆずはどうした？手に入らなくなったで！」との声も届き始めたころ、お客さんの「ゆずを送ってください」という、ありがたい注文もお断りをしなければいけない事態に陥っていました。

現在、農協では、四万十町（旧窪川）と中山地区（安田町）のゆず生産者と提携して、ゆずを作っていますが、ゆず加工品の伸びに原料生産が追いつかない状態となったのです。組合員からすると、生産した農作物のすべてを買い取り、販売してくれる頼もしい姿です。



出来を占う

豊作の年に当たる昨年は、干ばつの影響で不作となり、収穫量は707トンほどでした。今年の出来が気になります。生産者の皆さんにどうですか？と聞くと、まあまあ…との返事。どうやら裏年の割には頑張っているらしく、農協では昨年を上回ると見込んでいますが、新しいごっくん工場の生産能力を十分に活用するには、約千トンのゆずを確保したいとのこと（近年の収穫量は、下表のとおり）。

H14	546 トン
H15	559 トン
H16	803 トン
H17	611 トン
H18	707 トン

●ゆず収穫量の推移

しかしながら、ゆずの収穫量とは別に、馬路村ではさらなる難問も持ち合わせています。それは、人の問題です。高齢化の波は、この村にも既に押し寄せてきているのです。「ゆずを作つてはいても、あと何年作れるか分からん」そんな言葉を耳にします。専業農家が少ないこの村は、小規模農家にゆず産業を支えられています。これらの後継者対策も急務です。

巨大ゆず園 造成計画

ご存じのように、村の面積の96%は、山林で占められています。

農地は、田畑を含めて0.4%ほどしかなく、ゆず園を増やそうにも限界があり、頭が痛い問題です。

そこで、村と農協では、山林を開墾するよう計画しています。そのひとつは、朝日山のすつと上で、2ヘクタールを超える規模を考えています。

みんなあ がんばりゆうねえ



「ゆずはじまる祭り」はたくさんの人でにぎわいました

村のイメージ

山奥にコツコツゆずをつくる小さく元気な村がある、というイメージが全国に広がっています。

そのイメージを求めて、実際にお客さんが村へ遊びに来てくれるようにもなりました。わざわざこの遠くの山奥まで足を運んでくれるお客さんがいるということは、本当に行きたいことです。11月3日に行われた「ゆずはじまる祭

ゆずづくり村づくり

今や「ゆず」が全国に誇れる村一番の産業となりました。ゆずに関わって生活をしている農協の常時雇用者だけでも90人ほどいます。

かつての魚梁瀬杉時代のよう、がんばって取り組んできたゆずが今日の村のイメージを作り上げています。

私たちは、私たちの生活が、この村づくりに結びついていることを強く実感しなくてはならないと思います。

ゆずを作ることで、「この村を育てているんだ」と少しの誇らしさとともに責任をも実感します。そのことは、私たちの生活スタイルが村を作り上げていく事実にはほかなりません。

ゆずづくりを通して、お互いの生活を支えあっていることや全国のファンと強い信頼で結ばれることが、この村で生活することの自信と誇りにつながっていると思います。決して、ブームで終わらせたくないという強い思いを持って、取り組んでいかなければいけません。

決算

財政指標比較で見る現状

平成18年度の決算の状況を報告します。決算額は歳入が1,665,550千円、歳出1,616,296千円で、17年度決算額と比較すると歳入で666,976千円(28.6%)、歳出で662,813千円(29.1%)とそれぞれ減額となっています。

歳入・歳出とも、農協の柚子の森整備事業にかかる経営構造対策事業(新ごっくん工場建設事業)および日浦第2公営住宅建設事業の終了に伴い、大幅な減額となりました。

県内の他市町村と比較して、財政状況はどのようなのでしょうか? 財政指標で比較をしてみました。

危険・警戒エリアに位置づけも

1 経常収支比率

人件費や扶助費、公債費など削減することが容易でない経費(義務的経費)に、地方税や地方交付税などの一般財源(使途を制限されていない財源)がどの程度費やされているかを求めたもので、財政構造の弾力性を測定する指標です。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に

使えるお金が多くあることを示しています。少なくとも75%程度におさまることが望ましく80%を超える場合は財政構造は弾力性を欠いているとされてきました。しかし、地方財政全体が悪化している今日では、大部分の市町村が80%を超えて100%を超える市町村も出

てきています。村は91・2%で、県内35市町村中11番目の位置にいます。県平均は93・5%(町村平均91・7%)ですが、村は90%を超えるエリアの中において、全国平均は90・3%より悪い状況です。

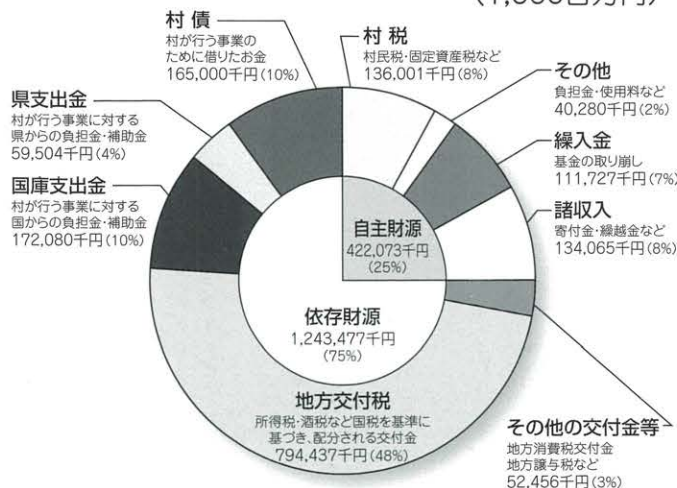
2 公債費負担比率

一般財源のうちどれだけを

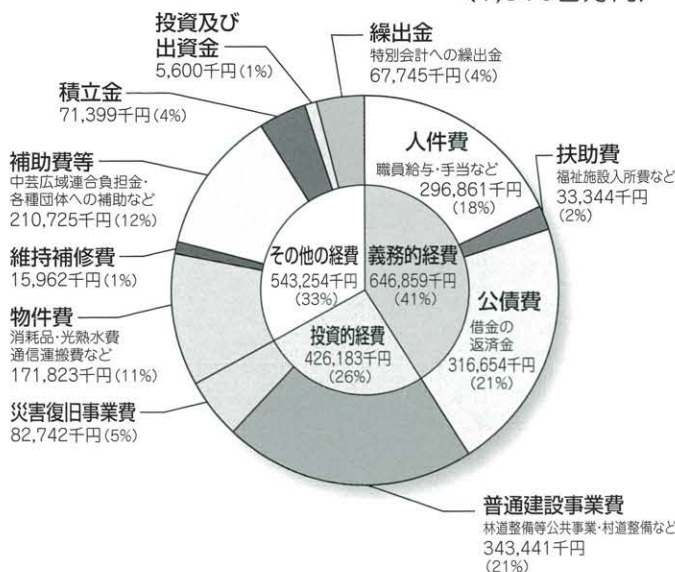
借金の返済に充てたかを表すもので、公債費(借金の返済金)の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標です。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、使えるお金が多くあることを示しています。目安として、15%を超えると警戒エリア、20%を超えると危険エリアといわれています。村は28・3%で県内35市町村中22番目の位置にいます。県平均は26・9%であり、村は危険エリアで、注意が必要です。

平成18年度一般会計の歳入歳出決算額

歳入の状況 (1,666百万円)



歳出の状況 (1,616百万円)



平成18年度

3 実質公債費比率

借金の返済による財政負担の程度を示すものです。

現行の地方財政制度では、借金の返済金の一部が地方交付税によってまかなわれる仕組みとなつています。

地方交付税でまかなわれたものを除き、自分で借金を償還する度合いを見るための指標です。

この数字が大きくなると、地方債発行(借金の借入)に以下のように制限が出てきます。

- 18%未満の団体 地方債の発行は 国との協議が必要。
- 18%以上の団体 地方債の発行は 国の許可が必要。
- 25%以上の団体 一般の事業等の地方債の発行が制限される。

村は17.5%で、県内35市町村中14番目の位置にいます。県平均は、18.9%であり、村は警戒エリアで、18%を超

えないよう注意が必要です。

4 地方債現在高比率

この比率は、地方債現在高に対する標準財政規模(標準的に収入しうる地方税、地方交付税等「経常一般財源」)の割合を示し、250%を超えると警戒エリア、300%を超えると危険エリアといわれています。

村は252.8%で県内35市町村中23番目に位置しています。県平均は280.3%で、村は警戒エリアの中におり、率は減少傾向にあり19年度は250%以下になると予想されます。

平成18年度における地方債(借金)の借入残高は二十二億三千六百九十四万九千円で17年度末より一億一千七百万円ほど減少しています。

5 積立金現在高比率

平成18年度末における積立金(貯金)の現在高は十六億五千七百七十万円で17年度末現在より二千八百三十八万円減少しています。

この比率は、積立金現在高に対する標準財政規模の割合を示しています。40%以下になると警戒エリア、25%以下で危険エリアといわれています。

【各種財政指標市町村別一覧表】

1 経常収支比率 2 公債費負担比率 3 実質公債費比率 4 地方債現在高比率 5 積立金現在高比率

順	市町村名	数値	順	市町村名	数値	順	市町村名	数値	順	市町村名	数値	順	市町村名	数値
1	橋原町	78.3	1	春野町	16.2	1	芸西村	12.0	1	春野町	154.1	1	橋原町	218.4
2	津野町	79.9	2	芸西村	16.6	2	中土佐町	12.3	2	土佐町	158.3	2	馬路村	183.7
3	土佐市	84.4	3	土佐市	17.1	3	土佐市	12.8	3	本山村	160.5	3	北川村	172.1
4	大豊町	86.1	4	土佐町	20.4	4	橋原町	13.1	4	芸西村	165.6	4	芸西村	162.9
5	仁淀川町	89.8	5	室戸市	20.6	5	黒潮町	13.7	5	越知町	187.1	5	奈半利町	154.6
6	香美市	89.9	6	大川村	21.0	6	津野町	15.7	6	土佐市	193.7	6	田野町	150.7
7	芸西村	90.0	7	香美市	21.1	7	越知町	15.8	7	橋原町	196.1	7	安田町	138.3
8	香南市	90.4	8	東洋町	21.3	8	香美市	15.9	8	香美市	197.8	8	三原村	114.4
9	大月町	90.6	9	いの町	21.6	9	佐川町	16.0	9	いの町	202.6	9	いの町	90.0
10	佐川町	90.7	10	宿毛市	21.9	10	春野町	16.1	10	東洋町	206.9	10	中土佐町	89.5
11	馬路村	91.2	11	四万十市	22.5	11	四万十町	16.5	11	佐川町	211.0	11	津野町	80.3
12	南国市	91.6	12	中土佐町	22.5	12	田野町	16.6	12	中土佐町	216.4	12	土佐市	72.2
12	宿毛市	91.6	13	大豊町	23.2	12	北川村	16.6	13	北川村	217.8	13	黒潮町	69.3
14	土佐町	91.7	14	三原村	23.8	14	香南市	17.5	14	宿毛市	218.3	14	佐川町	67.4
15	北川村	91.9	15	本山村	24.0	14	馬路村	17.5	15	仁淀川町	222.5	15	大川村	65.7
16	いの町	92.5	16	香南市	24.8	16	室戸市	17.9	16	大豊町	224.4	16	仁淀川町	65.4
16	四万十町	92.5	17	土佐清水市	25.1	16	仁淀川町	17.9	17	津野町	231.7	17	香美市	57.6
18	土佐清水市	92.8	18	日高村	25.7	18	土佐清水市	18.1	18	黒潮町	234.5	18	土佐町	56.6
19	越知町	94.1	19	仁淀川町	26.8	18	いの町	18.1	19	四万十市	234.6	19	大豊町	55.4
20	三原村	94.3	20	佐川町	26.9	20	東洋町	18.6	20	日高村	236.8	20	香南市	52.7
21	黒潮町	94.4	21	越知町	28.0	21	四万十市	19.0	21	南国市	237.3	21	四万十町	47.0
22	中土佐町	94.6	22	馬路村	28.3	22	安田町	19.4	22	大月町	241.3	22	本山村	44.6
23	安田町	94.7	23	南国市	28.6	23	宿毛市	19.6	23	馬路村	252.8	23	越知町	43.1
23	春野町	94.7	23	黒潮町	28.6	24	土佐町	20.1	24	田野町	257.4	24	日高村	42.5
25	本山村	95.2	25	四万十町	28.7	25	高知市	20.2	25	室戸市	258.9	25	東洋町	40.3
26	高知市	95.3	26	高知市	29.8	25	南国市	20.2	26	大川村	261.9	26	四万十市	31.8
26	東洋町	95.3	27	須崎市	30.2	25	奈半利町	20.2	27	香南市	263.8	27	宿毛市	30.0
28	日高村	95.5	28	北川村	30.7	28	大豊町	20.6	28	四万十町	265.3	28	安芸市	28.7
29	安芸市	97.3	29	大月町	31.2	29	大月町	21.3	29	土佐清水市	269.4	29	春野町	23.5
30	四万十市	97.6	30	安田町	31.7	30	三原村	21.5	30	三原村	273.8	30	南国市	20.8
31	大川村	98.7	31	奈半利町	33.0	31	大川村	22.4	31	安田町	293.4	31	室戸市	17.6
32	田野町	98.8	32	田野町	33.6	32	日高村	22.5	32	奈半利町	306.2	32	大月町	15.5
33	須崎市	99.1	33	橋原町	33.8	33	本山村	24.1	33	安芸市	339.5	33	須崎市	10.9
34	室戸市	99.9	34	安芸市	35.1	34	須崎市	24.5	34	須崎市	360.6	34	高知市	10.5
35	奈半利町	102.3	35	津野町	40.9	35	安芸市	27.0	35	高知市	361.1	35	土佐清水市	10.5

※安芸市については経過措置適用のため、当分の間借債制限なし ※特定資金公共投資事業債除く ※対標準財政規模

市町村中2番目に位置しています。県平均は39.7%で、

村は183.7%と県内35市町村中2番目に位置しています。県平均は39.7%で、

返済金の動向に特に注意を払い、積立金(貯金)を上手に使いながら、財政運営を行うことが重要です。

議会だより

No.110

平成19年9月定例議会は9月13日から19日までの7日間の日程で行われた。初日は、諸般の報告の後、選挙管理委員会委員、同補充員の選挙と教育委員会委員の任命について採決の後、平成18年度決算の認定他、議案9件の説明が行われた。14日から18日まで議案精査のため休会。20日は一般質問を2氏が行った。同日、議案の質疑と採決を行い閉会した。

一般質問

一般質問には、二氏が立ち、村発注の主要工事問題、

防災対策問題、観光行政について質問を行った。
(質問趣旨、執行部答弁要旨)

問 岡田長康議員

村の各所でいろんな工事が行われているが、何の工事か分からないものがあり、時には、村民が誤解や不信感を感じる場合があると聞く。村が実施をしている主要な工事現場へ工事名等標識を立てることはできないか。

答 村長

工事現場への工事看板の設置については、工事の受注者が工事名、工期等を記載して看板を設置することが義務づけられています。ただ工期が短いもの、工費が小さい維持工事また村単小規模事業等につきましては、担当課で判断をし、設置せずに工事を行っている場合もあります。

去る馬路老人クラブとの村政意見交換会の場でも具体的に影の落合の上(かみ)の場所を指して、ご質問もありました。当初この件については、村での残土処理場の整備が必要であるということから、早急にしたため看板がありません

んでしたが、現在は担当の課で看板を設置しています。

問 岡田長康議員

村に防犯灯が設置されて何十年になるが、この間付近の樹木が茂り、明かりが遮られる場所によっては防犯灯の役割を果たせない所が見受けられる。小・中学校の児童、生徒、一般村民を事故や犯罪から守るためにも早急に樹木の伐採等必要な対応をされたい。

答 総務課長

防犯灯が樹木の成長により明かりが遮られている点について、個所を早急に調査し、現場を確認し、地権者の承諾が必要となりますので、区長とも協力して対応していきたい。

問 山中 隆議員

防災対策について問う。村には自主防災組織ができ、地震を想定した訓練が主に行われている。実際に村では、台風による洪水被害、地震による山津波等の対応が不可欠と思われる。また、ラジオ、テレビの難視聴対策、先日の防災訓練のやり方の方法について、反省点があれば聞きたい。

答 総務課長

災害に対する職員の訓練と反省点ですが、六月二十日に

台風災害を基本とした防災訓練を実施しました。訓練は消防団も参加し、段階を踏んで行いました。内容は、課長が各地区の住民として役場へ通報する方法で行いました。職員が電話の対応をし災害本部へ連絡をしましたが、地名を知らない、避難場所を的確に伝えることができない職員もいた。停電対策が十分でなかった。民間パワーの活用として、土木、林業の情報把握と訓練が必要でないか等の課題が出ました。また九月二日の防災訓練は、サイレンの件も含め、全庁的な事前の打ち合わせがなかった点、中芸消防と連絡がとれない等反省点があります。そのほか、職員の対応のまずい点については、文書で職員に注意をし、今後このようなことがないようにしたい。ラジオの難聴の件については、停電時に電池式ラジオが情報を得る一番の道具となります。しかし馬路村には多くの地区があり、難聴対策について防災会議で検討していきたいと思えます。

問 山中 隆議員

観光施策を問う。一点目は街なみ整備事業について。この事業は公募した委員によつ

て運営されていると聞いたがどういう形で公募し、どういう方たちが応募され、任命後いつ会が開かれたのか聞く。エアノ巻のガードレールが一部決壊して危険であるが対応されていない。またこの整備は街なみ整備で予算を計上しているが今回事業名がエアノ巻ポケットパーク整備事業となっている。その青写真を見せてもらいたい。

二点目は、看板について。倒れた看板、汚れた看板が目につくがどんな対応をするのか。三点目は、平瀬残土処理場については、ここは元村長が平瀬は村の玄関口なので公園化し美観地区にしたいと土地の購入もされたが、現状は残土があり景観が悪い。今後の活用を問う。

四点目は、農協が行っているゆず堆肥場の悪臭対策をどうするのか問う。

五点目は、村行政全般について、農業、林業、観光の三本柱で村の振興を行っているが、林業以外は弱いが村長の考えを問う。

答 産業建設課長

一点目の街なみ整備事業についてお答えします。審議委員の公募については、四月に行い、結果八人の応募があり

四月二十七日に委嘱状を交付しました。審議会は五月七日、七月二日に開催しました。次にエアノ巻整備事業が遅れた理由は、この事業の決定が十九年三月二十六日であったため、その後審議委員の公募、委嘱、審議会開催となったためです。審議会では、エアノ巻整備事業をはじめ全体的な検討をしたため、当地区の整備が今の時期になりました。

二点目の看板については、審議会で検討し、景観と統一性をもたすために現在検討中です。十九年度に追加事業があれば順次整備していきたい。また、村としては、看板台帳を整備して管理したい。

答 村長

三点目の平瀬の活用について、防災ヘリポート、公営住宅用地と検討したが実現が難しく、ゆず公園を作りたいと考えている。現在、ゆずが不足している状況から、ゆずを植え公園的なものができないか農協と協議しながら進める。

四点目のゆず堆肥場の悪臭対策は、農協に重ねて要望していきたい。

五点目の村行政全般について、村の産業の振興は、地理条件を考えると地域の資源を生かした産業でなくてはなら

ない。農業では、国県の補助事業を導入しながら平成十四年度から搾汁施設、加工施設等の整備を村も約三億円強の補助をし、施設整備は一定完了している。また全国ゆずブームに対しても行政として取り組んでいる。林業は、魚梁瀬営林署がなくなり木材価格の長期低迷、木材需要の変化などで林業界は低迷している。村は、森を生かした産業に多くの村民が関わっている状況で、森林関連産業の振興をなくして村の将来は明るくない。

特に製材、丸棒は苦戦している。林業関係団体には財源力がないので様々な面で村が補助をしていかななくてはならない現状です。観光は、交流人口の増、視察団体、観光協会の新設なアイデアにより成果があがっているが、農協の取り組みに追いつくように力を入れていく。高齢者福祉に関しては、健康の増進、重症化予防に重点を置き、平成十八年の総括をし、二十年度は具体的な数値をもって進めていきたい。社会福祉協議会も利用者ニーズに応えようと共に、経営面でもきちんとできるように指導している。

〔教育委員の任命に同意〕

馬路村教育委員会委員小松

美和氏は、平成十九年九月二十四日をもって任期が満了するため、同氏の後任として中村千代氏を適任者と認め同意した。



住所 相名
氏名 中村 千代
(四十九歳)

平成十九年七月

臨時会

〔監査委員の選任に同意〕

欠員となつていている監査委員(識見を有する者)の適任者として中村曠司氏を同意した。



住所 高知市
氏名 中村 曠司
(六十五歳)

議案と審議結果

九月定例議会には、十六件の議案が提出され、いずれも可決された。(抜粋掲載)

十八年度六会計、総額で歳入二十一億七千八百三十五万円、歳出二十一億一千九百八十一万円となる。

(監査委員意見後載)

〔十九年度馬路村一般会計補正予算〕

●歳入歳出予算それぞれに一

億五千六百万円を追加し、総額十七億三千八百五十万円とする。

〔十九年度国民健康保険特別会計補正予算〕

●歳入歳出予算それぞれに二百二十万円を追加し、総額一億八千六百万円とする。

〔十九年度馬路村簡易水道特別会計補正予算〕

●歳入歳出予算それぞれに百七十万円を追加し、総額三千三百四十万円とする。

〔十九年度馬路村診療所特別会計補正予算〕

●歳入歳出予算それぞれに五百五十万円追加し、総額一億八千五百円とする。

〔十九年度馬路村老人保健特別会計補正予算〕

●歳入歳出予算それぞれを七十万円減額し、総額二億三千四百三十万円とする。

平成十八年度 決算審査意見書

平成十八年度六会計の歳入歳出決算に対し審査を行い、それに基づく意見書を各執行機関長へ提出した中で一般会計について抜粋掲載をする。

●歳入決算額は、十六億六千五百五十五万円(対前年度29%減)であり、そのうち自

主財源比率は25%となる。

●歳出決算額は、十六億一千六百二十九万六千円となり、単年度実質収支では、二千九百五十二万四千円の黒字となっている。

●歳出の人員費は減少したが公債費(借入金金の返還金)はエコアス馬路村の出資金償還が始まり大幅に増加した。十八年度は、地積調査事業が始まり整備を進めている。馬路村木製品販売対策事業は、林材加工協同組合、馬路村森林組合工芸センター、エコアス馬路村三団体に当年度は二千五百三十万円の補助金を交付している。これらの団体においては、補助金の支援で経営基盤の強化を図り、自立経営ができるよう努力を期待する。

意見書・陳情

●今定例会に、意見書議案三件が提出可決され、国の関係機関へ提出された。

●意見書〔通信と金融のユニバーサルサービスを維持するために、郵政民営化の凍結を求める意見書〕

●意見書〔有害鳥獣対策の抜本強化についての意見書〕

●意見書〔森林吸収源対策のための森林の整備に関する意見書〕

体操とおしゃべりで もっともっと元気に!



勉強も楽しい



会話の弾む車内



村には現在、自主的に集まり元気に活動している魅力的なグループが二つあります。まず一つ目は、『あいあいクラブ』です。週に2回、相名会館で茶話会と筋力向上のための「いきいき百歳体操」をおこなっています。楽しいおしゃべりに加えて、今年の2月からは口の筋肉や舌を鍛えて、食事時の飲み込みや会話時の

発音が良くなる「かみかみ百歳体操」も始めました。また、今年7月に行われた認知症講話で、おしゃべりが脳に良いと学んでからは、おしゃべりにますます磨きがかかっています。二つ目は、『ゆうゆうクラブ』です。昨年12月広報のあいあいクラブの記事を見て影響を受け、今年7月に結成され

た新しいグループです。週に2回、東川会館に集まり、いきいき百歳体操と茶話会をおこなっています。参加者の中には食生活改善推進員さんもいて、茶話会の中で、参加した研修会の報告をおこなったりして勉強をすることもあります。10月にはあいあいクラブ、ゆうゆうクラブ、ほっとサロン、デイサービスが合同で室戸へ遠足に向きました。グループ同士の交流がそれぞれの活動の刺激となっています。みんなで集まって楽しむことが体にも心にも良いことを実感し、最近では周囲の人を誘い活動の和を広げることも始まっています。気取らないつぎあいを大切にしていくところが楽しく続けられる秘訣のようです。ぜひ一度ご参加ください。また、地域やグループで、自分たちも何かやりたい、体操をやりたいたいなどの希望がありましたら、ぜひ、健康福祉課へ声をおかけください。

講師の紹介や、体操指導、グループづくりのお手伝いをさせていただきます。

馬路村俳壇

産土や御神輿かきに帰りくる	山崎喜久子
今朝秋の山下りてゆく検診日	
百合は実に地鶏をみんな手放せり	
勝ち栗の一つを残し落ちにけり	中屋 良子
自分との戦いはじめ秋マラソン	
がんばれの秋風うけて完走す	島田 智香
暮れ早し鴉またくる柿の木に	
豊の秋つたい歩きの初まりて	高芝 栄子
運動会足のもつれるゴール前	
柿の実の渋さなつかし我家かな	山崎 裕之
渇水の湖にあらわる平家達	
妻恋いの鹿声谷にこだまする	島田 朝彰
老ふたり手押車に菊の束	
山門のみえ穂芒のゆれ止まる	山本 美幸
歩かんと夕日なほある芒原	
笑ひ声嚙み穂芒のかくれんぼ	氏原 淑
溪昏れる猿梨たかきに日を集め	
一葉落つ巫女のひとりは顔顔で	池 蘭子
ふるさとに近き峠のななかまど	
切株にひらく弁当鴉の秋	東谷 晴男



ふるさとへの便り 27

馬路村を離れて進学・就職し、早くも六年が経ちました。

短大卒業後、J.R西日本の新幹線パーサー(客室乗務員)を経て、現在は大阪・難波と関西空港・高野山・和歌山県を結ぶ南海電鉄で車掌として働いています。

この間、発車時刻になったので扉を閉めようとした所、後ろから「車掌さんちよと待つて!!これに乗らなあ間に合わんき!あんたらあ早うきい!」と、よく聞き慣れた方言とともに10人ほどのお客様が駆け込んで乗車されました。もしや?!と思い、巡回時に声を掛けると、関空経由で土佐山田へ帰るといふ団体のお客様方でした。馬路村出身ということ盛り上がり、業務を忘れそうになるほど話し込んでしまいました。仕事が忙しくしばらく帰省していません。仕事に忙しくしづりに聞く土佐弁や、おんちゃん・おばちゃんのものんびりした空気の温かさに触れ、懐かしさで胸がいっぱいになったことを覚えています。

ゆずの村として、全国進出を果たした今、一緒に乗る運転士さんにも馬路村ファンの方が出て、「ごっくんみついたら絶対買う!」うちのサラダは馬路のボン酢

私の職場は
アルバイト

大阪市
岩田 希望さん
(東川出身)

やないとあかん」
「昨日テレビやってたな」
と声を掛けてくれる度に嬉しさと同時に誇りに思えます。
目まぐるしく過ぎてゆく大阪での生活の中で、疲れた時に帰ってホットと一息つける田舎があることは、とても幸せなことだと改めて感じました。
大阪に遊びに来て私を見かけた方、大阪で遊べる所・おいしい店など、旅行のプランのつとして提案させていただきますのでぜひ気軽に声を掛けてくださいね。



▲めがねをかけているのが私



フォト人ウォッチング ④ 門田 和枝さん (魚梁瀬)



魚梁瀬地区には公衆トイレが四カ所あることをご存じでしょうか。ダムの展望台上、魚梁瀬丸山公園前、魚梁瀬熊野神社入り口、そして千本山登山口上流の親水広場です。
門田和枝さんはそのトイレの掃除などの維持管理を一人で一手に引き受けてくれています。おかげで地元の人たちだけでなく、観光客も気持ちよくトイレを使うことができます。
時期によっては谷から引いている手洗い用の水が出なくなっていたり、蚊が大発生していたりなどもしばしば。なかでも親水広場は水が出ないことが多く、行くたびに下を流れる川から水をく

抜群のフットワーク

できて掃除をしなくてはならない状態だそうです。ほかに、おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会の時は、仮設トイレ周辺の草刈りまでもしてくれているのです。
それを門田さんは「楽しい」と一言。続けて、「川の流れと同じで、何でも上から清めていくことが大切です。下から清めてもまた上から汚れていきます。これは人の道にも通じます。そして何より、毎日の感謝の気持ち忘れずに。これが大切で、何よりの元気の源です」と語ってくれました。
日ごろは家事からゆずなど畑の世話まで忙しく、体が三つは欲しいと笑っていました。
趣味も豊富で、料理など女性らしい反面、延縄やアメゴ釣りなど男性顔負けで、移動も軽トラックを軽やかに乗りこなすなど活発です。
年齢とともにますます多彩な趣味に取り組んでいるその姿から、充実した毎日を過ごされているようで、とても素敵に見えました。
これからも健康に気をつけて家事に仕事に興味にと頑張ってください。

キャリア教育をすすめる

～生きぬく力を育てる～

子どもたちは、学校や家庭においてさまざまな体験をしています。このことが将来の「働く」ことにつながります。体験活動を通して、「どのように感じたのか、どのように考えたのか、これからどうしたいのか」を考えることで、自分がみえてきます。



標語発表集会

基本的な生活習慣を身につけ、良い生活リズムで日々を送ることは、子どもたちにとって、成長する上で特に大切なことです。小学校では、早起・早起きの大切さやバランスの良い食事のとり方などを意識づける取り組みをしています。生活リズムの大切さを考える学習のひとつとして、標語作りをしました。その中で、自分の生活を振り返り、より望ましい生活リズムにするために改善したら良い点を考えました。それぞれが標語を

標語作り

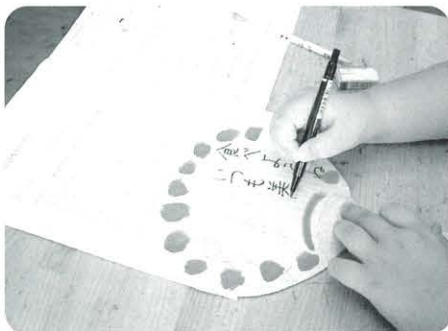
魚梁瀬小学校

作った理由を発表しあい、友だちの考えも知ることができました。

また、五、六年生は、下級生に標語の意味が分かるように説明しながら、全校児童の前で発表しました。

作った標語は廊下にはったり、校内放送で流したりして、生活リズムの大切さをアピールしています。

そして、うちわにも書き、村の文化祭にも出品する予定です。



うちわに書いた標語

朝ごはん
しっかり食べれば 元気出る
朝起きて
歯みがきしたら いい気分

昔の暮らし体験

馬路小学校

三、四年生は昔の道具やそれらを使っていたころの様子を知り、生活には人々の知恵や工夫があることを理解することをねらいとした昔体験を行いました。

事前に知りたいことの聞き取り学習を児童の祖父母から行い、本番に備えました。

体験内容は、足踏みでの米つき、竹のお箸作り、かまどのご飯炊き、味噌汁作り、石臼でのきな粉挽きなどです。教えていただいたのは、児童のおじいさん、おばあさん、そして地域の方々です。

百五十年前に建築された「天保の家」を目の前にするだけでその時代にタイムスリップした気分になりました。体験では、足で踏む米つきに大変興味を持ちましたが、



足踏みでの米つき



かまどでのご飯炊き

なかなか調子良く踏むことができません。また、続けて踏むのに苦労していました。十六人が交替して、やっとなんか踏まないと白米にならない」とか「この仕事は子どもの仕事だった」と言う話に驚き、大変さを肌で感じることができました。そして、米のぬかをふるい分けやっとなんか炊くことにこぎ着けました。ナイフで線のように細く削ってしまった竹でのお箸作りや、石臼でのきな粉挽きなど、ひとつひとつの体験が全く初めてのことばかりでした。子どもたちは、体験を通して、地域の人たちと積極的に関わりを持ち、教えてもらったり、分からないことは尋ねたりして、意欲的に体験することができました。実際に家でこのような体験を多くしている子どもさんは、作業が早く、要領よく仕事ができます。ぜひ、家でも家族の一員として家事を任せてみましょう。

馬路中学校

平成十六年度の秋の合同運動会の反省の席で、「準備や片づけに関わる中学生の動きが悪い。あまり働いてないように感じる」といった声が聞かれました。このことの改善に向けて取り組みを進めている中で、子ども活躍する場が教師や大人に奪われてしまっている状況に気がつきました。少子化が全国的に進んでいる中、馬路中学校でも平成十六年度には全校生徒が十五人となりました。大人側の意識には、行事をスムーズに進めるため、積極的に手伝ったり、子どものためと考え、手だてや世話を厚めにしようとする傾向が見られましたが、そうすることで、子どもの学びや育ちの場を奪ってしま



準備に汗をかく

キャリア教育と運動会

うことに気づきました。

キャリア教育の研究を進める中で、行事や取り組みにおいて出来上がりの姿やスムーズな進行に重点を置くのではなく、その行事を通して子どもたちが何を学び、どう育つための取り組みであるかということを中心すべきであると考えました。

大人の立場では、子どもたちが快適で不便なく生活できるようにと、さまざまな援助を行おうとしますが、時には子どもの学びや育ちをかえって奪ってしまうこともあります。そのため、すべての行事や取り組みを見直し、ねらいがなんであるかを教師たち自身が確認し、子どもたちに自主性や責任感が生まれるために必要な時間や時間をしっかりとかけ、行事が子どもたちの本来の学びや育ちにつながることを目指しています。



魚梁瀬中学校

五月から調理実習を六回実施し、献立の立て方や簡単な弁当作りのヒントなども学習してきました。意欲もだんだん高まっているようで、十月末に行われた森林教室の日にも、十一人中六人が手作りのお弁当を持ってきました。

手作り弁当持参で 職場体験



いよいよ目標の「手作り弁当を持って行こう」という五日間の職場体験学習です。キャリア教育でつきたい力であれば、弁当作りも仕事と同じように段取りが必要です。前夜から記録用紙に記入し、家にある材料で何ができるか計画をたてるのが重要です。最低一品は自分で作り、自分で



弁当箱に詰めてみようという約束をしました。

そのためには、出勤時間から逆算し、早く起きることが必要になってきます。早寝早起きをして、ベストな体調で出勤する上でも弁当作りが効果的だと気付いた生徒もいたようです。

また、これらは将来、手軽なコンビニ弁当や外食にはかり頼らず、安価でヘルシーな手作り弁当を持って仕事に行ける大人になってほしいという願いを込めた取り組みでもあります。

その成果は、村の文化祭に展示させていただく予定です。



村の絵馬・故事・俗信 14

前号に牛若丸が天狗から剣術を学び免許皆伝を授かる絵馬を掲載しました。今回から絵馬などを中心として記したいと思います。

馬路村の歴史と伝説



山中 巖

〔通算第131回〕

前号に牛若丸が天狗から剣術を学び免許皆伝を授かる絵馬を掲載しました。今回から絵馬などを中心として記したいと思います。

神社仏閣を訪ねること幾十回、先人の願いととも、朽ち果ててゆく絵馬を拝見して、これらの文化財を守ってゆくことの大切さをしみじみ感じてきました。

絵馬の由来は、人々が願いや感謝をこめて神社仏閣へ馬を奉納したことからはじまりました。不肖若きころ、広島県の厳島神社（現在世界遺産に登録されている）を訪ねた時に、奉納された馬が飼育されていた（魚梁瀬平氏は平家一門の尊崇の厚かった厳島神社を城福寺へ勧請した）。今まで村内の

感想を一つ二つ記せば、作者、奉納者（奉獻・奉寄進者）奉納年月日などすべて記されているものは少ない。また、画題（テーマ）が不明なものも多く研究調査の必要を感じます。

さて、写真の絵馬について説明します。

一 画題

川中島の合戦

〔安芸郡馬路村日浦 伊吹亀太〕

二 銘文（めいぶん）

「奉納」請願成就

「伊清書」落款

〔安芸郡馬路村日浦 伊吹亀太〕



三 参考事項

①川中島の合戦について一五五三〜一五六四年甲斐の国の武田信玄と越後の国の上杉謙信が信濃の川中島で五回戦つたが勝敗はつかなかった。

②この絵馬は、浄瑠璃、歌舞伎などで演じられたものを素材としたものである。謙信が馬上で刀を振りかぶり、信玄が軍配（ぐんぱい）の説、また、軍扇の説もあり）で受け止めようとしている場面と考えられています。

四 村に残されている絵画

村内には絵馬や板絵（舞良戸などや、またこれらの板にはられた絵画）が見られます。現在、すべてを調査していないので、分かりませんが、絵馬は、江戸時代、明治、大正、昭和初期までのものではないかと思えます。

村の歴史を知らない村外出身の私は、山中巖氏の「馬路村の歴史と伝説」をいつも興味深く拝見しています。

休日には「ここで記事に書いてあったことが、昔あったんだなあ」と思いながら散歩を楽しんでいます。また、昔の暮らしについても学び、今の自分を振り返ったりもしています。地域の言い伝えは近年途絶えつつありますが、こうして残してくれる限り、馬路村は大丈夫だと思います。

楽しみにしていますので、これからもがんばってください。



～Dr.内田のひとりごと～

「皆さん、健診を受けましょう」

早いもので今年もう終わりにかけています。どのような一年だったでしょうか。

さて、このコーナー、前回からの続きで、今回は高脂血症、糖尿病について解説します。

コレステロール

脂質の一種で、細胞膜や胆汁、各種ホルモンなどの原料として体にとってはなくてはならないものです。

しかしコレステロールの多い状態（高脂血症）は動脈硬化の原因となります。血液検査では総コレステロール（TC）と中性脂肪（TG＝トリグリセライド）、HDLコレステロールをチェックします。

中性脂肪（TG）

体内でエネルギー源となりますが、余分なものは脂肪組織に蓄えられ、その多くは皮下脂肪となり、さらに肝臓にたまり脂肪肝になります。

またアルコールの摂取は体内の中性脂肪の合成を促進します。中性脂肪が多いと高脂血症から動脈硬化へと進み、脳卒中や心筋梗塞などを発症しやすくなります。中性脂肪を減らすにはアルコールやタバコを控え、ウォーキングやジョギングなどの軽・中程度の運動をするといいいでしょう。



HDLコレステロール

余分なコレステロールを肝臓に戻す働きをします。動脈硬化を防ぐ働きをしますので善玉コレステロールといわれています。この数値が低くなると、動脈硬化の危険性が高まります。

一方、

LDLコレステロール

血管壁にたまって血管を細くしていきます。この状態が長く続くと血管がつまりやすくなります。そのため悪玉コレステロールといわれています。この数値が高くなると、動脈硬化の危険性が高まります。

血液中の中性脂肪とHDLコレステロール、LDLコレステロールは密接に関係しており、血液中に中性脂肪が増えると、HDL（善玉）コレステロールが減り、逆にLDL（悪玉）コレステロールが増えてしまいます。

2007年の日本動脈硬化学会で高脂血症は脂質異常症と名称が変更となりました。これは善玉コレステロール値が低い場合も「高脂血症」と呼ぶのは適当でないと言われたためです。その中で「脂質異常症の診断基準」が発表され、総コレステロール（TC）の数値は削除されました。

脂質異常症の診断基準

（日本動脈硬化学会による。以下のいずれかに該当する場合）

悪玉（LDL）コレステロール	140mg以上（血液1dl当たり）
善玉（HDL）コレステロール	40mg未満（同）
トリグリセライド（中性脂肪）	150mg以上（同）

糖尿病

血液中のブドウ糖濃度（血糖値）が高くなった状態です。ブドウ糖は脳をはじめとした各臓器の主要なエネルギー源ですが、血糖値が高すぎると全身のあらゆる臓器に障害を起こします。

問題になるのが糖尿病による合併症で、神経・目（網膜）・腎臓への障害が3大合併症といわれるものです。失明や人工透析の原因となる病気は糖尿病が一番多いのです。また、脳卒中や心筋梗塞、感染症にもかかりやすく、糖尿病は全身の病気といっても過言ではありません。健診では空腹時血糖とHbA1c（一カ月の平均の血糖値の指標）を測定します。

最後

いつもの余りに

談です。糖尿病で受診している方がおられ、血糖降下薬を内服しており、毎月血糖値とHbA1cを測定

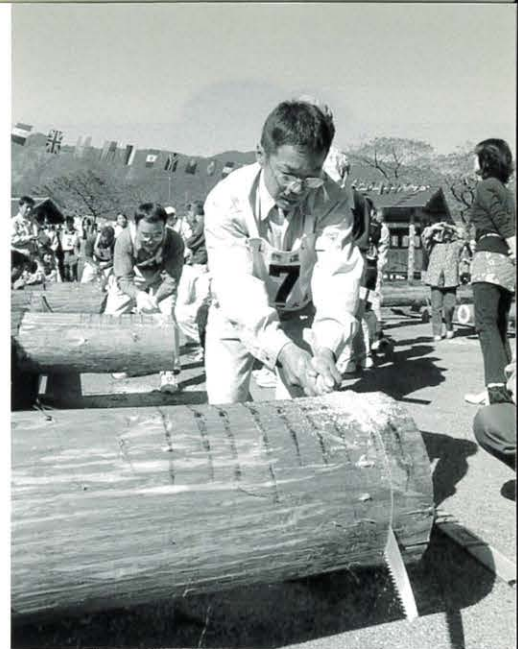


していました。ある時、ピーナッツが大好きで食べだすと止まらないという会話から（実はピーナッツはかなりカロリーが高い）、「今月はそのせいか糖尿病が悪くなっていますね」と説明したところ、「私は糖尿病なのですか」と言われました。薬まで飲んでいなのに自覚されていなかったことに関して私の説明不足も恥ずかしく思ってしまったのですが、ご自分の病気についても何の薬を飲んでいるのかなど、もう少し関心を持っていただけたら、と思ったことでした。実はこの方、学校の先生だったので…。

特集 魚梁瀬の森

自然豊かな森は、多くの生き物をはぐくみ、水を蓄え川をはぐくみます。私たちの身近にある森やその資源はとても魅力的です。

今回は、「森を楽しむ」「森を守る」「森を学ぶ」そんな魚梁瀬の森を題材とした取り組みを紹介します。



山師達人 選手権大会



11月4日、山師の技やその作業の大変さに触れることで山を取り巻く現状を感じてもらい、少しでも林業の振興につながればと、馬路村林業青年クラブの主催で山師の技を競う大会が催されました。

競技は、予選種目でも直径30センチの丸太をのこぎりで切る速さを競う木挽き競争に、100キロほどの木を引っ張る轆馬競争、杉の木に登る杉の実取り競争とユニークです。決勝では、なんと直径50センチを超える大木の木挽き競争と、目標に向かって杉の立木を伐倒する本格的な山師の技が競われます。

魚梁瀬丸山公園内で行われた今大会は、今年で早くも15回目を迎え、愛媛県や大豊町からの参加もありました。男性の部10チーム、女性の部4チームでの競技となり、大勢の見物人の笑い声で秋の一日が賑わいました。優勝は昨年を引き続いて、とされいほくAチーム、第2位は地元のなかよしチーム、女性の部では、地元のちよいの間レディースが優勝しました。

林野庁が国有林で様々な体験や活動ができるように進めている「遊々の森」事業の一環として、村教育委員会と安芸森林管理署で、10月25日に西又山ブナの森自然観察教育林周辺を教育に活用する協定を結びました。

魚梁瀬中学生は、その場所を『恵みの森やなせ』と名付け10月30日、安芸森林管理署や森の案内人らとともに、ブナやコナラ、イロハモミジなどの苗200本の植樹を行いました。シカの食害などで、荒廃した山をブナ林に再生しようという取り組みです。

生徒たちは、急斜面にてこずりながらも、くわで穴を掘り一本一本苗木を植え、シカの食害防止用のチューブをかぶせていました。その後は、西又山ブナ林を散策しました。丸一日かけた体験をとおして、「山を守る活動の意味やお父さんたちの山仕事の大変さがわかりました」と感想を述べていました。



よみがえれ ブナの森



ブナ1年生

学校に 巨大壁画完成



顔料を混ぜる様子

高知市朝倉中学校の廊下の壁に魚梁瀬の森を題材にした日本画「緑燃ゆ」が現れました。

この壁画は、夏の馬路村を写生し、県木の魚梁瀬杉をメインとして万緑が生き生きと生命力にあふれる姿を描きあげたものです。制作は、同校美術部と高知大の学生らが協力して行いました。顔料を幾重にも重ねて陰影や立体感を表現した作品は、縦2.4m横4mのとても大きなものです。

そのほか、トサミズキやヤイロチョウなども描かれ、同校では、この廊下を「森林通り」と呼び、里山作りと併せて、いつかは千本山へ行きたいと自然と向き合う取り組みを進めています。





カールの

フォト
エッセイ

⑭

外国語指導助手 カール・レイフ・エリックソン
(アメリカ合衆国ミネソタ州サークルバインズ 出身)

バイクの免許試験

“ミネソタ(アメリカ)VS日本”

こんにちは!夏が過ぎ去って、皆さんはすばらしい秋の季節を気持ちよく過ごされたと思います。

前号の記事を書いたから、僕はずっと忙しかった。英語を教えること、アウトドアを楽しむこと、愛犬“マテオ”と遊ぶこと、そして、日本のバイクの免許試験を受けたこと。

僕はバイクが大好きで、13歳の時から(オフロードや敷地内などで)ずっとバイクに乗っている。高知にきた時から、僕は日本でバイクに乗ることを夢見ていた。それで、今年、日本のバイク免許試験にチャレンジすることに決めたのだ。だけど、試験は簡単なものではなかった。僕にとって試験に合格することはとても難しく、4回目の挑戦で、やっと合格したのだ。



やった!バイクに乗れるようになった。そこで、ミネソタ(アメリカ)と高知(日本)のバイクの免許試験の違いをお話ししよう。

まず、ミネソタの試験のことから始めよう。ミネソタでは、16歳から受けることができる。筆記試験と実技試験の2つに分かれていて、筆記試験は30問、80%以上正解だと合格だ。この試験のみで、すべての排気量のバイクに乗ること

ができ、どこでも走れる。しかし、これには条件があって、必ずヘルメットを着用すること、人を乗せないこと、夜は乗らない、などのルールがある。

次に、実技試験は、バスケットボールコートぐらいの試験場内で行われる。

これにはブレーキング、発進、方向転換、スラロームがあり、すべて遅いスピードで行われていて80%うまくいけば合格できる。方向指示器の点灯や安全確認、各種設定速度での走行などはない。実技試験に合格すると、今度は人を乗せてもOKだ。そして、ヘルメットをかぶりたくなかったら、かぶらなくてもいい。着用は本人の自由なのだ。んん??なんかおかしい?僕もそう思うけれど、これがミネソタ流なのだ。



今度は日本のバイク試験について、簡単に説明しよう。日本の試験も2つに分かれていて、筆記、その後で実技試験がある。

実技試験は、試験場内のコースで行われるが、はるかに広く、ミネソタの試験以外にいろいろなものが含まれている。難しかったのは、狭い橋の上に乗って渡ることだ。日本の試験はとても厳しくて、すべてがパーフェクトにできなければ合格できない。僕は1回でミネソタのバイク試験に合格したけれど、日本では合格するのに4回もかかってしまった。これは僕の運転が下手ということかな?いや違う。僕はそうは思わない。このことは、日本とアメリカの試験の大きな違いで、文化の違いから来ているのだと思う。アメリカでは、免許を取るのとはそんなに難しくなく、多くの自由が許されているが、安全で機敏であることなど、運転については自分自身で責任を持たなければならない。日本はそれとは反対で、自動車学校で教官が運転の仕方を教えて、自動車学校が運転の技能修得に責任を負わなければならない。

どっちがいい試験?僕にはわからないけれど、どちらも良いところがある。アメリカでは1回目の試験で合格でき、とてもうれしかった。だけど、運転練習も不十分だったので突然の運転は少し怖かったのも事実だ。日本の試験では多くの練習と時間を費やして

しまったけれど、合格した時、すごく気持ち

のいい達成感を味わ

った。だから、

どちら

がいいか

はわからない。

皆さんはどう思う?

今回はアメリ

カと日本のバ

イク試験につ

いてのお話で

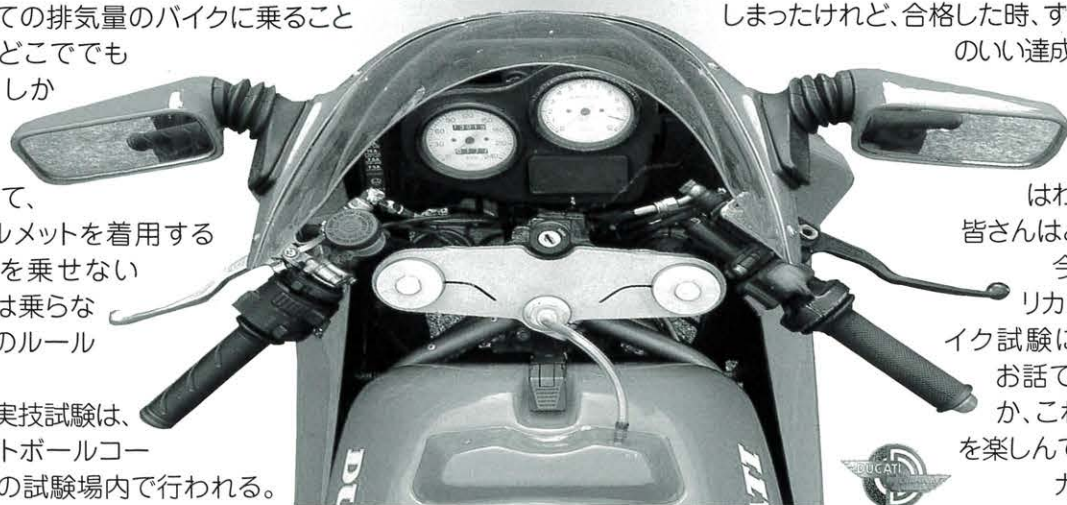
した。どうか

、これからの

冬を楽しんで

ください。

カールより。



金賞(高知県教育長賞)受賞



平成19年度、歯・口の健康に関する啓発標語コンクール小学校2年生の部で、魚梁瀬小学校2年生の岡野吏紗さんが金賞(高知県教育長賞)を受賞しました。

標語『シュッシュュッ!歯みがき列車のスタートだ』

この標語は、来年度にRKCラジオのコマーシャルで放送される予定になっています。

問 魚梁瀬小学校

お知らせ



水道管の凍結にご注意を



寒い季節になりました。凍結による水道管の破損が予想されます。

予防には、止水栓を締めどれかひとつの蛇口を開けておくと効果的です。

もしも、水道管が破損した場合には、すぐに止水栓を締め、専門業者または役場産業建設課、魚

梁瀬支所まで修理の依頼をしてください。(修理代は自己負担となります。)

ご家庭の止水栓の位置について、ぜひとも事前の確認をお願いします。

問 産業建設課

TEL 44-2336



平成19年度 自衛隊生徒募集

防衛省では、中学校卒業生を対象とした自衛隊生徒(陸上のみ)を募集しています。約3年間は、一般高校と同等の学科と各種技術の基礎を学びます。以後、各種学校で専門的な技術を学び部隊・機関等で活躍します。

◎高校卒業資格取得

◎入隊と同時に自衛隊生徒に任命(俸給150,200円)

募集種目	資格	受付期間	試験日
自衛隊生徒	15歳以上17歳未満の者 中学校卒業者 (見込みを含む)	11月1日(木) ~平成20年 1月8日(火)	1次試験 平成20年 1月12日(土)

問 自衛隊高知地方協力本部 安芸地域事務所
安芸市本町3丁目11-15(Smaile Aki前2F)

TEL 0887-35-2749

URL <http://www.mod.go.jp/pco/kochi/>

携帯サイト <http://www.mod.go.jp/pco/kochi/itop/html>

無料労働相談 職場のトラブルでお悩みはありませんか?

解雇や賃金引き下げ、労働時間、いじめやセクシャルハラスメントなど職場でのトラブルの相談をお受けしています。

また、高知労働局と県労働委員会では、あっせんなども行っています。お気軽に相談窓口をご利用ください。

相談窓口 / 場所	電話
高知労働局総合労働相談コーナー (高知市南金田48-2)	0120-783-722 088-885-6027
高知総合労働相談コーナー (労働基準監督署内 高知市南金田48-2)	088-885-6010
高知県労働員会 (高知市丸ノ内2-4-1高知県庁北庁舎)	088-821-4645

国有財産が公売されます

安芸森林管理署では、旧魚梁瀬営林署横の物件を公売します。資料の閲覧及び問い合わせにも応じていますので、お気軽にお問い合わせください。

●売払物件 所在地 ▶ 大字魚梁瀬字丸山10番地199

土地 ▶ 宅地 807.49㎡(約244坪)

建物 ▶ 1棟137.88㎡(木造二階建)

●入札 日時 ▶ 平成19年12月18日(火)

午前11時00分締切

場所 ▶ 安芸森林管理署 会議室

問 安芸森林管理署 業務第一課

安芸市川北乙1773-6

TEL 0887-34-3145



12月・1月むらの行事予定



12 月	
1 土	馬路熊野神社秋の例大祭 こどもみこし祭り
2 日	舞神楽発表会(馬路熊野神社) 10:00~
3 月	
4 火	校内持久走大会(馬小)
5 水	校内持久走大会(魚小)
6 木	馬路保育所もちつき
7 金	第36回馬路はし拳大会(コミュニティセンター馬路)
8 土	安芸郡市新人球技大会(~15日)
9 日	ハミングゆ~ずクリスマスコンサート(就業改善センター) 18:30~
10 月	
11 火	絵本のよみきかせ(多目的施設) 10:30~11:00
12 水	高齢者ふれあいもちつき(魚中) 魚梁瀬子育て支援教室(多目的施設) 10:00~11:30
13 木	馬路子育て支援教室(交流センター) 10:00~11:30
14 金	行政相談(就業改善センター) 10:00~12:00 人権相談(就業改善センター) 10:00~15:00 乳幼児健診(田野町保健センター) 13:00~
15 土	第35回馬路村文化祭・第27回村内芸能発表会(~16日馬路体育館)
16 日	
17 月	校内マラソン大会(魚中) 絵本のよみきかせ(交流センター) 10:30~11:00
18 火	
19 水	
20 木	
21 金	1歳6カ月児健診(奈半利町保健センター) 13:00~ 参観日(馬小・馬中)
22 土	終業式 馬路温泉ゆず風呂
23 日	天皇誕生日
24 月	振替休日
25 火	馬路保育所クリスマス会 犬・猫引き取り8:30~9:00
26 水	
27 木	
28 金	仕事納め
29 土	
30 日	
31 月	

1 月	
1 火	新春走り初めピットリタイムレース(魚梁瀬) 元日 成人式
2 水	新春走り初めピットリタイムレース(馬路)
3 木	
4 金	仕事始め
5 土	馬路温泉休館(~9日)
6 日	消防出初式
7 月	
8 火	始業式
9 水	魚梁瀬子育て支援教室(多目的施設) 10:00~11:30
10 木	馬路子育て支援教室(交流センター) 10:00~11:30
11 金	行政相談(就業改善センター) 10:00~12:00
12 土	
13 日	
14 月	成人の日
15 火	
16 水	絵本のよみきかせ(多目的施設) 10:30~11:00
17 木	
18 金	乳幼児健診(田野町保健センター) 13:00~ 参観日(魚小)
19 土	第26回村民駅伝競走大会 県バスケットボール新人大会
20 日	
21 月	
22 火	高知県学カフロンティア事業指定校研究発表会(馬小) 絵本のよみきかせ(交流センター) 10:30~11:00
23 水	
24 木	校外美化活動(魚小)
25 金	小学校6年生保護者説明会(馬中)
26 土	一日先生(車イスバスケットボール)(馬中)
27 日	
28 月	犬・猫引き取り8:30~9:00
29 火	
30 水	
31 木	

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
10月	1			1		2		2	1,111
11月	3	4	1	8	4		1	5	1,114

馬路 864人、363世帯
魚梁瀬 250人、125世帯
馬路村特別村民 2,436人
(11月30日現在)



村内あちらこちら



10月7日 おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会



10月13日 湯けむりピンポンin馬路(馬路温泉)



10月17日 魚梁瀬地区はし拳大会(多目的施設)



10月28日 魚梁瀬地区村民運動会



11月3日 ゆずはじまる祭り

村のできごと

10月

- 7日 おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会
- 11日 安芸郡市秋季中学陸上競技大会(芸西村)
- 13日 湯けむりピンポンin馬路(馬路温泉)
- 17日 魚梁瀬地区はし拳大会(多目的施設)
- 18日 魚梁瀬熊野神社大祭(~20日)
こどもの文化浴事業(就業改善センター)
- 20日 わくわく科学教室(就業改善センター)
- 24日 村内小・中学校合同学習会Ⅱ期
- 28日 魚梁瀬地区村民運動会
- 30日 遊々の森での植樹(魚梁瀬)
スポーツ選手ふれあい指導事業(魚小)

11月

- 3日 ゆずはじまる祭り
安芸郡市中学駅伝競走大会(安田町)
- 4日 山師達人選手権大会(丸山公園)
- 5日 職場体験学習(馬中・魚中)(~9日)
- 11日 魚梁瀬の自然体験と温泉観光ツアー(千本山)
- 17日 ゆず収穫・わらじ編み体験ツアー(~18日)
協働の森・損保ジャパン間伐体験(馬路)
スポーツ選手ふれあい指導事業(馬小)
- 20日 ゆずとりボランティア(馬中)
- 25日 高知県知事選挙投票

編集後記

朝日出山の杉の大杉を見に行く機会がありました。片道十分の登山道に気合いを入れて、ふうふうはあはあ！
その樹は約八百年の歳月を感じさせながらも堂々としており、自然の厳しさと生きる意味を語っているようにも感じました。圧倒的な大きさをやたくましさとともに見上げる私を対等に見てくれる。そんな姿に、年をとってもこうでありたい！と思います。

(T)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443

TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010

E-mail address umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 高知印刷株式会社